

サプライチェーン マネジメント

- JTグループ調達基本方針
- 事業におけるサプライチェーンマネジメント



JTグループ調達基本方針

近年、企業のサプライチェーンマネジメントにおける社会的課題への対応が求められています。JTグループでは、これまでグリーン調達などのCSR志向の調達に取り組んできましたが、より社会からの期待に応え、その責任を果たしていく観点から「JTグループ調達基本方針」を策定しました。この方針では、JTグループが調達活

動を行うにあたり、関連法令や規則を遵守することはもちろんのこと、人権尊重、環境配慮などの面でも適切で誠実に対応することを明記しています。

この方針策定を受け、今後はサプライチェーン全体でのCSR調達の推進に向け、取引先との連携を順次進めていきます。

JTグループ調達基本方針

私たちは、「自然・社会・人間の多様性に価値を認め、お客様に信頼される「JTならではのブランド」を生み出し、育て、高め続けていくこと」をJTグループミッションとして掲げています。JTグループは、このグループミッションを遂行するため、本基本方針に則った調達活動を実施してまいります。

1. コンプライアンスの実践

- 調達活動に関係する法令・規則等を遵守し、社会的規範に則して行動します。
- 調達活動に際して取引先様から入手した情報を適切に管理します。
- JTグループコンプライアンスの行動規範・行動指針等に則り、適切かつ誠実な調達活動を実施します。

2. 環境への配慮

「JTグループ環境憲章」の基本理念に基づき、環境に配慮した調達活動を実施します。

3. 取引先様の選定

取引先様の選定は、品質、価格及びサービスの評価に基づき行います。とりわけ、JTグループに提供する財・サービスについて実績があり、安定供給能力があることを考慮します。これらに加えて、以下の項目についても重要な判断事項とします。

- 各国・地域の関連法令を遵守していること。
- 人権及び社会的規範を尊重した事業運営を行っていること。
- 環境に配慮した事業運営を行っていること。
- 機密情報や営業秘密などの取引相手から提供された情報を適切に管理していること。
- 経営上及び財務上安定した、継続性のある事業運営が維持されていること。

事業におけるサプライチェーンマネジメント

たばこ事業での取り組み

国内産の葉たばこの調達

製品原料の品質に対するお客様や社会からの関心が高まる中、JTグループでは高品質な葉たばこ原料の生産に重点的に取り組んでいます。

国内における葉たばこ生産は、全国各地の葉たばこ耕作者によって担われており、耕作農家の方々と間で売買契約を結んで葉たばこの買い入れを行っています。

農業の基本は「土づくり」にあり、その有効な手段が有機質肥料の使用です。JTは耕作農家に対し、化学肥料や農薬への過度な依存を防ぎ、良質堆肥や有機配合肥料の使用を推奨しています。

また、葉たばこ栽培の際に使用せざるを得ない農薬については、明確な使用・取り扱いの基準やルールを策定するとともに、その使用が適正かつ必要最低限となるよう、すべての耕作農家の方々に対象に説明会、講習会を実施しています。使用実績の提出を義務化するとともに、買い入れ時には全耕作農家の方より葉たばこをサンプリングして分析を行った上で、万が一問題がある場合には、個別の農家まで遡って特定する仕組みを構築しました。

信頼性の高い葉たばこ原料の生産に向けて、農家の方々とJTとが一体となって取り組みを進めています。



葉たばこの耕作地

海外産の葉たばこの調達

JTグループの海外産葉たばこの調達機能は、スイス・ジュネーブにあるJTインターナショナル(JTI)が担っています。高品質な海外産葉たばこを安定的に確保・調達するためには、葉たばこ生産地の持続可能な発展が欠かせないとの認識のもと、JTIでは生産地の発展や生産者の生活水準向上などの社会的課題の解決に取り組んでいます。

アフリカなどの葉たばこ生産地では、森林破壊や貧困、低い農業生産性、児童労働などが大きな社会問題となっています。JTIでは、植林／森林保全活動をはじめ灌漑設備の整備、農業技術指導など、さまざまな問題解決のための取り組みを進めています。また、葉たばこ農家が児童を雇用し、危険な作業に従事させるといった児童労働問題を防止するために、児童に教育の機会を提供すると同時に、葉たばこ農家を含む生産地の住民への啓発活動などを実施しています。

関連ページ p9-12
特集1:葉たばこ産地における取り組み

医薬事業での取り組み

人々の生命や健康に直結する医薬品を取り扱う製薬企業には、医薬品の研究開発から販売後に至るまで、高い品質と安全性を確保・保証することが求められます。

JTグループの医薬品の製造・販売を担う鳥居薬品(株)では、患者様の安全を最優先とし、原材料の調達から医薬品が製造・出荷された後、患者様の手に届くまでの品質を維持し、安全が確保できるよう努めています。新しい原材料の調達先や製造委託先等を選定する際には、品質保証の観点からも厳しいチェックを実施した上で選定しています。加えて、既に取り引のある各社に対しても定期的な監査を実施することで、医薬品が患者様の手に届くまで品質を保証できるよう取り組んでいます。また、各種法令・規制を遵守するため、製造販売業三役(総括製造販売責任者、品質保証責任者、安全管理責任者)を設置し、医薬品の品質に対する保証と販売後の安全管理を徹底しています。

食品事業での取り組み

食品事業においては、お客様に安心していただける商品を提供し続けていくために、最高水準の安全管理を最重要課題として取り組んでいます。

安全な食品づくりは、安全で高品質な原料の調達から始まります。JTグループでは、品質規格保証書の提出をサプライヤーに義務づけ、その内容を確認するとともに、主要な原料については、残留農薬や抗生物質などのモニタリング検査、原料工場の定期的な監査を実施しています。さらに海外(タイ、ベトナム、中国など)の原料については、原料農場の土壌や水質の検査、栽培状況の確認、農薬の管理状態のチェック、飼育場や養殖場の点検など、原材料の生産現場から安全性を確認しています。

また製造工程においても、厳格な管理を実施しています。冷凍加工食品については、自社グループ工場と生産委託を行っているすべての工場において、食品安全に関する国際規格であるISO22000を取得しました。工場監査では、生産プロセスだけでなく、セキュリティや薬剤管理などの基準を厳格化した監査基準を適用しています。国内外の生産工場においては、定期監査及び抜き打ち監査を実施しています。



食の安全管理アドバイザーの視察風景